

第58回「ハートミーティング」意見交換の内容について 「年金事例研究会」のメンバー

★参加メンバーからの主な声

- 市長が年金制度の課題などについて、理解を頂いていることが励みになりました。研究会に積極的に参加し更に知識を深め、研鑽に努めたいと思いました。
- 市長より日々の業務に対する労いのお言葉と、自主的に研究会が発足した経緯に感謝のお言葉をいただき励みになりました。より一層市民の方に適切な案内ができるよう頑張りたいと思います。
- 市長のお話には市民サービスの向上のための工夫や展望があり、常に市民の立場に立っておられると感じました。
- 市長の年金業務に関する経験談が非常に興味深く、そのきめ細やかな対応に感銘を受けました。
- 市の業務の中には年金と密接に関係する制度も多いため、様々な制度を把握した業務の運営や、関係機関との連携が重要であることを改めて実感しました。
- 市長より様々なアイデア、助言を頂戴することができたことは今後の活動や業務の励みになり、モチベーションの向上につながります。

★市長からのコメント

- 皆さんが現行制度のなかで最大限努力し、年金制度の知識や事例を共有したり、勉強する姿勢は、素晴らしいと思う。矛盾を感じることは、わかりやすい制度になるよう改善を提案してほしい。
- 日々複雑に変わる年金制度についてしっかりと研修するとともに、社会保険労務士の方など専門家と一層連携していけたらよい。
- 現代社会のあらゆる課題や、市民の悩みなどが年金を通して見えることを改めて実感する。我々が課題にむけて何をしていかなければならないかを考えさせられる。
- 職場の愚痴でもしっかりと磨けば職場を改善する政策になる。大変だと思うが、今がベストと思わずに、常に改善する姿勢を持って職務に当たってほしい。
- 年金の権利がきちんと行使され、本来あるべき姿として正しく受給されることで、財政の健全化にもつながる。
- 今では社会保険労務士など専門家の方も第一線でともに活躍していただき、大きな結果を出してくれていると感じる。今後も研究会を継続させ、事例に基づく対応のマニュアル化や年金受給の効率的な運営の仕組みなどを一緒に考えていただきたい。